

「家庭学習MGC」実践例

錦江小学校

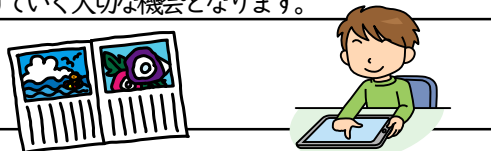
自ら学ぶ子どもを 育てるために

○ 家庭学習の基本的な考え方

1 家庭学習の目的

家庭学習には、次のような目的があります。よく言われるような「勉強ができるようになるため」だけではなく、これから生きていく上で大切な力や態度を身に付けるために家庭学習は重要です。特に、自分自身で学習計画を立て、時間を管理しながら学習を進めることは、学習場面においても生活場面においても自らを律し、自ら考えて行動する力を身に付けていく大切な機会となります。

- 主体的・自律的に学ぶ力の育成
- 基本的な生活習慣と学習習慣の定着
- 基礎学力の定着と応用力の育成



2 目的に向かって一保護者と学校が連携して—

● 家庭学習の意義や目的の理解

なぜ、家庭学習をするのでしょうか。遠い未来における夢や目標の実現のために、1のような力や態度を身に付ける必要があることを子どもたちが理解することがまず大切です。

● 目標・学習計画設定と振り返り

目標があり、計画通りにやりきる経験を積むことで、子どもは自己効力感や達成感を得ることが出来ます。この経験ややる気や次へ挑戦する気持ちにつながるとともに、根気強さや忍耐力を身に付けることにもつながります。

● 個別最適な関わりと指導（学びの内容や方法・量）

子どもたちには一人一人に得意・不得意があります。ですから、学びの内容は方法・量（時間）は、子どもによって異なります。大切なのは、一人一人に合った家庭学習になっているかどうかです。

3 学習の内容

● 基礎学力を身に付けるための学習

● 自主学習（宅習）

学習の内容は、大きく二つに分かれます。

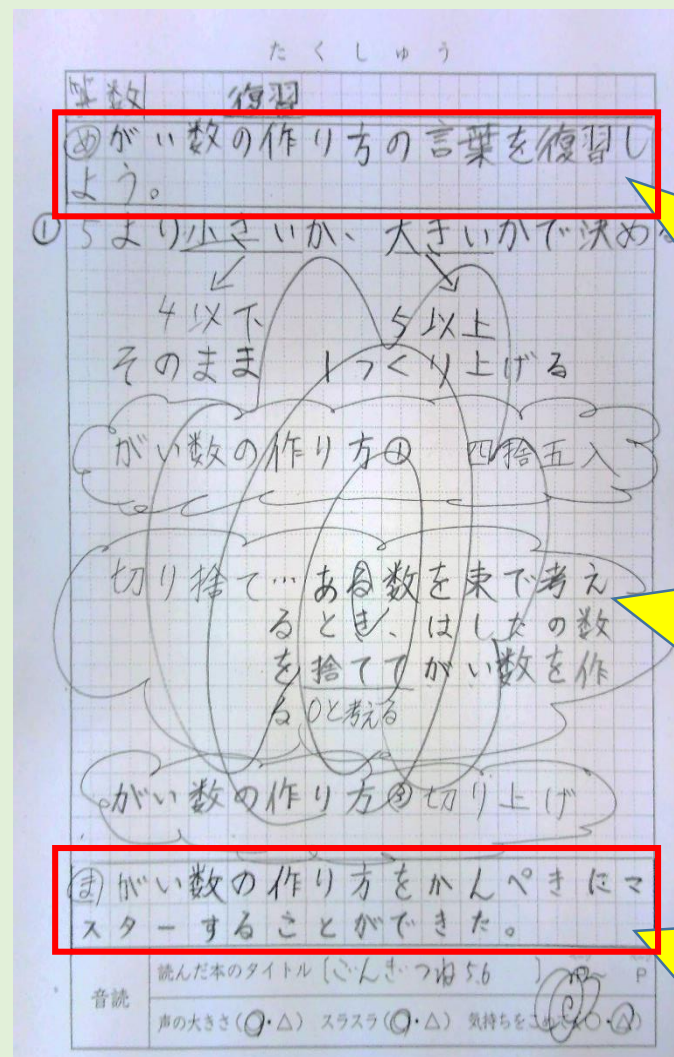
一つは、基礎学力を身に付けるための学習です。漢字学習やドリル学習が中心になり、教師から指示された内容について学習することが多くなります。もう一つは、自主学習です。基礎学力を身に付けるための学習においても、自らの学習状況を把握して目標や学習計画を立てることが大切ですが、自主学習は、自分の考えて全てを進めていく学習です。ただし、いずれにおいても、その子に合った学習になっているか、保護者も教師も把握し、適切にサポートすることが大切です。

※家庭学習手引きの内容から

○ MGCの取組

【小学4年生 算数のMGC】

「がい数の考えを深めるために、復習に取り組んだ家庭学習」



できる・分かるようになりたいことをめあてとする。

内容は、子どもたち自身が決める。今、自分に必要な学習は何か考え、自己決定する。

授業で、学習したことや調べたことをまとめる。その際、教科書やノートをもとに、教科の大事な用語の復習をする。

取り組んだ学習について振り返る。取り組んでみて、理解したことや自分の考えがどう変わったかを振り返り、自覚化を図る。